

こめて協育を

第31回大分県PTA研究大会

杵築市大会

2月5日(日)、県内より関係者約400名が参加し、感染予防対策が十分に講じられた中、杵築中学校体育館をメイン会場に研究大会が開催された。「家庭・学校・地域が一体となつてつながりあうPTA活動」を研究主題に、「ただいま・おかえり・いつてらっしゃい」の3つをこめて協育を」の大会スローガンのもと、開会行事に続き各分科会会場において活発な討議が行われた。



杵築市大会紀要



あいさつする山田県PTA連合会長

開会行事

本多和彦杵築市大会実行委員の開会宣言に続き、山田弘樹県PTA連合会長が「コロナ禍となり3年、社会全体で感染拡大防止対策は着実に進んでいる。徐々に学校行事や体験学習等が再開されつつあるが、感染拡大の波が繰り返される中、基本的な感染対策の徹底や新しい生活様式を踏まえた取組を余儀なくされている。

コロナ禍の3年間が子どもたちの心身に与えた影響は大きい。このような状況の中で、家庭・学校・地域社会がより緊密に連携するために保護者どうしが互いに学び合い、つながり合うことにおいて県PTA連の使命と役割は大きい。本大会を通じて子どもたちの明るい未来のために、連携・協働を図る活動の充実につなげてもらいたい」とあいさつした。

岡本天津男大分県教育長は「大分県の子どもたちが学力・体力ともに高い水準を維持していることは、授業改善や一校一実践等の取組等により学習・運動の意欲向上の成果が表れた結果と考えられる。社会の変化の中、今後もきめ細やかな児童生徒への対応と多様な学びの機会提供への支援を行っていく」と祝辞を述べた。その後、次期開催地への引継式が行われた。

第1分科会 家庭教育

家庭での対話で 育つ信頼関係

「こころをこめて育てる家庭教育」をテーマに約100名が参加し討議。

防災を学び 生きる力を育む

白杵市立白杵小学校P伊東太一郎会長は「こころをこめて育てる家庭教育」と題し発表。「海抜約2mの沿岸部という立地から東日本大震災後、PTAでは2013年、校舎移転ではなく防災教育の充実を図ることを明文化し「防災部」を設立。他所にはない独自の取組を行っている。部の実践活動のひとつに登校時避難訓練がある。災害は予期せず発生することを前提に登校

時、地震発生を想定し花火を上げ、それを合図に児童はシェイクアウトの姿勢をしたのち、避難場所を目指す。子ども自身で避難経路を考えることを目的とし、防災部は訓練中の交通安全指導を担当する。児童の防災に対する意識は高いが、コロナ禍で実践的な訓練



熱く指導する助言者

絆を深める

中津市立豊陽中学校P峯康治郎副会長は「親と子で感じあおう、お互いの気持ち」PTAで勤める家庭教育ノススメ」と題し発表。「コロナ禍で活動が制限される中、中津市PTA連の「ほめまち中津の家庭教育ノススメ」事業を「日P主催の三行詩コンクール」への積極的な応募とつなげた。生徒による家族への思いをのせた詩を、PTAが独自に審査・表彰し、各家庭へ配布した。これらは子どもたちの意識向上や保護者の家庭教育へ

の関心を高めることに役立つ。また家庭での子どもとの関係等についてWEBアンケートを実施したことで、PTAの存在価値の再確認と活動の相互理解を図ることができた。これらの取組は家庭での対話促進のきっかけとなっており今後も推進していきたい」と報告した。

討議では子どもと保護者の関係づくりについてほめ方等の具体的な意見が交わされた。柏木淳子県教育庁社会教育課社会教育主事は、両校に対し「防災部の取組は工夫を重ねて活動が身についている。災害時、命を守るために必要な知識や経験の幅を広げるため活動を継続してほしい」「コロナ禍でも子どもや保護者のためにできる活動を模索することで家庭教育への良い結果につながっている」と指導助言した。

私は、現在中学三年の息子を持つ父親です。地区は別ですが、両親と同じ町に住んでいます。自分達が共働きの為、息子の保育園の迎えは、自分の母に、頼っていました。母は、免許を持っていない為、徒歩で、迎えに行ってくれました。家までの帰路の途中には、郵便局があり、そこで休憩して、帰っていました。少子化もあってか？実家の近所では、小さい子供がいなくなった。よく声をかけてくれました。小学校高学年になったころには、一人で実家に、歩いて帰るようになります。今でも実家に歩いて帰っています。ある日、自分が学校に用事があり、息子を車で迎えに行くと、実家に向かっている途中、「寄る所がある」と言うので車を止めると、その近くの家にいたお年寄りの所に行き、話していました。車に戻ってきた息子に、何かあったのか？尋ねると、「心配するの悪いから、顔見せといた」と、笑顔で言いました。実家で、そのことを母に話すと、息子が保育園から帰ってくるころから、よく声をかけてくれたり、自分はその事を、初めて知りました。自分の知らないところで、息子を心配し、毎日のように声をかけてくれていたお年寄りや実家近所の方々に、感謝すると共に、そのような方々と笑顔で接することが出来るように育つてくれた息子の成長に、驚きました。家では、見る事の出来ない一面を見る事が出来、良い日でした。



第2分科会 広報・地域連携

地域ぐるみで育む故郷愛

「子どもたちの育ちは地域と共に」をテーマに約100名が参加し討議。

地域を誇りに 考える体験学習

杵築市立豊洋小学校奨学会小澤希美会長は「豊洋の担い手育てるふるさとを思い、地



活動を報告する発表者

域に貢献できる豊洋っ子」と題し発表。「児童数50名。校区の全世帯が会員になり小学校を支えていく趣旨で75年前に発足した奨学会が受け継がれている。『全校活動部』『地域活動部』の二つの部で活動地域性を活かし、つながりを深める活動を企画している。共働き家庭の増加とともに親子ふれあい活動(親子レク)と行事を兼ねて行うことが増えている。低学年の生活科の体験学習では地域の方と芋の苗を植えているが今年度は親子レクも兼ねて保護者も参加自然に恵まれた環境の中、地域全体で子どもを育成し、つながりあう体制がある。地域

の高齢化等の課題もあるが工夫を重ね地域の強みを活かした活動を続けたい」と報告した。質疑では奨学会の内容や地域への活動の広報について質問があった。

地区全体が家族

佐伯市立米水津中学校P丸山祥永会長は「子どもたちの育ちは地域と共に」「顔の見える関係づくり」の取組を通して」と題し発表。「生徒数27名の小規模校。活動内容を厳選し全員が専門部員として活動。小学校と比べ生徒・保護者ともに地域行事への参加が減っている現状から、今年度の最重要課題を、保護者が地域と子どもたちを繋ぐ役割を果たしていくこととした。地域貢献活動「米水津」は、体験や協働を通して「ふるさと

の心」を受け継いで欲しい」と報告した。

太郎良将彦県教育庁社会教育課社会教育主事は、両校に対し「コロナ禍でも工夫し豊かな自然環境を活かした活動を地域の協力を得ながら取り組んでいる」「学校運営協議会では家庭・学校・地域の目標を共有し課題を明確にしている。ふるさとを次代につなげていくために地域の子どもを育てる関係づくりを進めてもらいたい」と指導助言した。

豊後大野市PTA連合会 副会長 小倉 隆治

第31回 大分県PTA研究大会杵築市大会分科会一覧

Table with 4 columns: 分科会 (第1分科会 家庭教育, 第2分科会 広報・地域連携, 第3分科会 人権教育, 第4分科会 組織・運営), テーマ, 提言者, 指導助言, 記録者, 責任者, 運営責任者.

こころを

ごあいさつ



第31回大分県PTA研究大会 実行委員長 工藤 慎一

本日は県PTA研究大会杵築市大会にご参加いただきありがとうございます。コロナ禍により、多くの行事や活動が制限され子どもたちの心と身体の成長に大きな影響を与えている状況です。そのような中からこそ家庭での毎日のやりとり「ただいま・おかえり・いつてらっしゃい」に心をこめて、家庭での安心感が子どもたちの生きる力の原動力となります。

バトンをつなぐ

引継式では、山田県PTA連合会長が開催地の杵築市PTA連合会長へ感謝状を手渡した。その後、工藤杵築市PTA連合会長から次期開催地である宇佐市の森恵宇佐市PTA連合会長へ大会旗を引き継がれた。宇佐市PTA連のPR動画紹介の後、開会行事は終了した。



大会旗の引き継ぎ

第3分科会 人権教育

自他を大切にできる心

「ともに考え学びあう人権教育」をテーマに約100名が参加し討議。

PTA活動にも 多様性を

大分市立戸次小学校PTA那賀照晶会長は「会員すべての人権を尊重するPTA活動を目指して」と題し発表。「PTAにおいて、きまり」が多く保護者の負担が大きい状況の中、人権に配慮した活動となつていくのかを把握するためにアンケートを令和元年度に実施。翌年から約3年をかけ、専門部と学級役員の削減後さらにコロナ禍もあり自由な活動を



活動を報告する発表者

出合いを積み重ねて

杵築市立山香中学校PTA岩尾雅弘会長は「学び・響き・輝く」山香中PTA活動「家庭と学校の連携・協力を通して」と題し発表。「PTAは人権（こころ）の成長を子どもたちとともに育てていきたいという考えで取組を進めている。総務部のPTA人権教育講演会「何かを失ってもっと人権は輝ける」では講師から出合いとアンブレティサッカーによって人生が変わり、目標を持つことで人生は前向きに変わっていくことを学んだ。

の結果として無理なく活動できる現状を次の世代に引き継いでいきたい」と報告。質疑では、ボランティアでの活動状況や募集方法等について意見交換が行われた。

かには、出合いを大切にしている現状を次の世代に引き継いでいきたい」と報告。質疑では、ボランティアでの活動状況や募集方法等について意見交換が行われた。

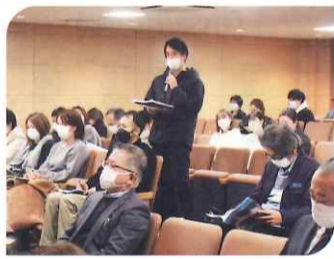
第4分科会 組織・運営

継続力で想いをつなぐ

「楽しくつながるPTA活動」をテーマに約100名が参加し討議。

前進する 小さな一歩

竹田市立祖峰小学校PTA佐藤義治会長は「学校、家庭、そして地域の支えの中で」つながりを感じ、気持ちよくアクションを楽しもう」と題し発表。「児童数42名、会員数30世帯。保護者全員が専門部に所属し、組織全体で連携・協働しながら活動を進めている。研修部が主催した環境問題等を学ぶ講演会をきっかけに、親子で身近なことからアクションを起こす活



熱心に質疑をする参加者

子どもの夢 応援プロジェクト

別府市立中部中学校PTA恒松宗典会長は「子どもの夢を育むPTA活動」学校・地域・家庭の連携した実践を通して」と題して発表。「生徒・保護者・学校・地域の四位一体を感じられる活動を目指し、2015年より「中中部ガチンコスクールリーダー」を開始。生徒に向き合う地域域の先生授業として、保護者・地域で事業を営む方々等が講師となり職業講話を行う。この取組を通して将来進む道を決め、夢の実現に向けて進路選択をした生徒も多い。さら

直す中、やらされ感から必要感のある活動への転換に向けて、活動の方向性を考えていくことが必要である」と報告。討議では、地域連携の取組について意見交換が行われた。

小長和宏県教育庁社会教育課主任社会教育主事は両校へ「地域にいる身近な保護者が、子どもたちのために活動している姿をみせることは大きな価値につながる。これは、PTAが子どもにもたらす教育的効果である。また今後、PTAは地域とともに、どのような子どもを育てたいかという視点での熟議が必要になつてくる」と指導助言した。

県P連からののお知らせ

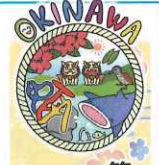


大分県PTA連合会ではPTAについて解説するリーフレットを作成しています。新小学1年生に配布中です。

南山田小学校PTAでは、「思いやりと会話で深めよう親子の絆」をスローガンに掲げ、家庭・学校・地域が三位一体となり、様々な活動を展開して目標達成を目指した。

人権意識の醸成を図るために、千回以上出産に立ち会った助産師さんや、積極的に親子人権講演会、映画DVD朗読の視聴等による「親子で平和を考える会」など、自他の命の尊さを親子で学ぶ機会を設けてきた。

コロナ禍での新たな取組として、ノーマディアの日や、親子読書の日を始め、親子の絆を深める活動を展開した。また、子どもの自尊感情の



第67回日本PTA九州ブロック研究大会 おきなわ大会



第4分科会の提言発表をした南山田小P小野会長

育成を図る「勇気が出る言葉の声かけ」や、校長先生を座長とした「子育て講座」により、子育てに対する保護者の意識改革に努めた。

この意識改革は、コロナ禍に伴い思うように活動ができない状況であっても、常に親子で向き合い、積極的にPTA活動に取り組む保護者の「姿勢」につながっている。

討議では、「人権意識の醸成・向上」「子育てをする上での思いやる心の育成」について、実践事例をもとに情報共有を行った。

指導助言者では、長野雄一郎大分県教育庁社会教育課指導主事が、「人権教育に取り

「子育て」を語るうえで、「情報共有」「行動」は、欠かすことが出来ないワードだ

子そだてひとこと
—sweet & bitter—

この子の輝き

子育て環境に関心をもち、情報を共有し行動を起こす時（はぐく美 平成21年7月13日発行。1面記事）

「時の流れに身を任せ」という風潮を、さらっと、流してきた時代もあったようだが、さまざまな事象が、からみ合っている今、新たな方向性をしっかりと踏まえた活動をおろそかには出来ない。

先に出ている「三語」に引き合せて生きる宿命的な環境が、目の前にあるようだ。

子どもの「いのち」の輝きを、しっかりと正面から受け止めねばならない。それが社会の急務ではなからうか。

子どもの「心」に向き合うことでしか、応えられない。もっと、もっと、子どもに「寄りそう」こと。「物」ではなく、「心」で。

三行詩 大分県最優秀作品 家族が織りなす きずなの詩

大分県PTA連合会は、令和4年度「三行詩」の県内審査を行い、応募総数593点の中から、部門ごとの大分県最優秀作品と優秀作品を決定し、最優秀賞受賞者の学校で表彰を行い祝福した。

※受賞作品については県P連HPでもご覧いただけます。

最優秀

<p>【小学生の部】 大分市立横瀬西小学校 6年 堀陽姫乃</p> <p>大切な尊い命 親からもらった一番最初のプレゼント</p>	<p>【中学生の部】 竹田市立竹田中学校 1年 丸山 颯姫</p> <p>夕ご飯 テレビつけずに笑い声 今日の出来事発表会</p>	<p>【一般の部】 宇佐市立駅館小学校PTA 森本 和秀</p> <p>小さく 小さく 産まれた君が 今年 二十歳の成人式 辛いこと 悲しいこと 嬉しいこと 今まで ほんとは 色々あったけど 僕たちを選んで産まれてきてくれて ありがとう これからも お互い成長できるように よろしくお願ひいたします</p>
---	---	---

優秀

<p>【一般の部】</p> <p>中津市立深木小学校PTA 森園 敬一</p> <p>日田町立豊岡小学校PTA 前田 美穂</p> <p>大分市立金池小学校ひしのみ会 長嶋 ナミ</p> <p>和間 ゆかり</p> <p>中津市立和田小学校PTA 和間 ゆかり</p>	<p>【中学生の部】</p> <p>中津市立豊岡中学校 2年 藤丸 未桜</p> <p>豊後大野市立大野中学校 2年 仲町 優月</p> <p>竹田市立竹田中学校 2年 友岡 楓勝</p> <p>新築 梨央</p>	<p>【小学生の部】</p> <p>大分市立横瀬西小学校 6年 仲村 太志</p> <p>日田市立小野小学校 1年 神川 宣彦</p> <p>大分市立野北小学校 1年 仁部屋 心咲</p> <p>大分市立横瀬西小学校 4年 宮本 ななみ</p>
--	---	--

三井住友海上火災保険株式会社

大分県PTA連合会補償制度

令和4年度の学生・子ども総合保険は、自転車条例に対応する賠償責任の補償に加え、新型コロナウイルスの感染リスクに備えるプランや、支給されたタブレットの損壊リスクにも対応するプランをご用意しています。

補償期間：令和4年4月1日～令和5年4月1日

中途の加入も随時受け付けています。詳しくは取扱代理店までお問い合わせください。

事故にあわれた時のご連絡先 24時間365日事故受付サービス
「三井住友海上事故受付センター」
☎ 0120-258-189

保険にかかるお問い合わせ (取扱代理店)
MS九州株式会社 大分支店
☎ 097-537-3700
受付時間：平日9:00～17:00

東京海上日動火災保険株式会社

ケガ 自転車条例への対応 熱中症

ご心配な方へ!

2023年1月から募集開始!

スマホでかんたん 保険申し込み～口座の登録まで手続き!

保険にかかるお問合せ (事故に遭われた時のご連絡先)
(取扱代理店)
東京海上日動パートナーズ九州
大分支店大分支社
☎ 0120-800-577
受付時間平日9:00～17:00

詳細は大分県PTA連合会HP掲載の「東京海上日動パンフレット」をご覧ください。

「はぐく美」編集委員を募集しています。

詳細については左記事務局までお問い合わせください。

大分県PTA連合会事務局
☎(097)596-1005

第46回大分県PTA広報紙「コンクール表彰式」
3月14日(火)

▼きっかけは一本の電話。ご縁がご縁を呼び出合いにつながった。子どもたちのために情熱を注ぐ方々を追いかけた5年間。青春時代に熱中した部活を思い出す。一歩踏み出す大切さを教わった。(K)

▼偶然の出会いから始まった編集作業。初めてのことに悪戦苦闘しながらの5年間。多くのことを学び貴重な時間を過ごすことができた。ご縁とお世話になったすべての方々に感謝を。(I)

「PTAのすゝめ」を推進

大分県PTA連合会では、「大人が子どもと・学校と・地域と・みんなで・楽しもう子育て」の6つのキーワードに思いを込めて、「PTAのすゝめ」(令和3年度改め)を推進しています。

PTAのすゝめ

- 大人が示そう あいさつの基本
- 子どもと遊び ふれあい 伝える感情
- 学校とともに深める信頼の絆
- 地域とつながり はぐくむ豊穡
- みんなが得意い できる事を できる時に
- PTA活動を通して 楽しもう 子育て

大分県PTA連合会